

セットアップ・運用マニュアル

- GFH-380 セットアップ同梱品
- GFH-380 のセットアップ
- 転写のセット方法
- 液晶パネル使用方法
- 使用する上での注意事項
- 故障かなと思う前に
- GFH-380 仕様

GFH-380 のセットアップキット同梱品

GFH-380 のセットアップキットには下記の内容物が同梱されています。



ヒューズ	2個
プラスドライバー	1個
マニュアル等	1式

GFH-380 のセットアップ

1. 木板の下面にある十字ネジを2ヶ所、はずします。



2. 平らな場所で熱に弱いものの近くを避けて設置してください。



3. 本体に貼り付けてある PLEASE PEEL OFF THIS LABEL のシールを剥がしてください。



注意)

- PLEASE PEEL OFF THIS LABEL のシールを剥がさず使用しますとタイマーがカウントダウンされません。

4. 電源ケーブルを差し込む際、アースを必ず取ってください。(静電気で故障の原因となります)

転写のセット方法



パワースイッチを入れます。



↑↓ボタンで、緑表示を目的の温度に設定し、START ボタンを押します。



↑↓ボタンで表示を目的の秒数に設定します。



コテ上のハンドルを回して圧力を設定します。



テーブルが汚れないようにアンダーペーパーをのせます。



アンダーペーパーの上に布地をのせます。



布地の上に転写プリントした面を裏側にしてのせます。



ハンドルにてコテを下ろしてピーと音がするまでプレスします。



タイマーがカウントダウンしてタイマーが鳴ったら完了です。

注意)

- 転写画質は布地に対して温度と時間と圧力のバランスによってかなり左右されますのでカラーチャートを何回か転写して合わせることをお勧めします。
- より良い画質にするためにはプリントしてから7時間前後経過してから転写することをお勧めします。
- 一度プレスしてから再プレスすると画質がぼやけますので一回にてプレスするようにしてください。

液晶パネル使用方法



PV SV

プレス時間(秒)の設定を
↑ ↓ ボタンで設定します。
赤い表示(PV)が現在秒数で、
緑の表示(SV)が設定秒数です。

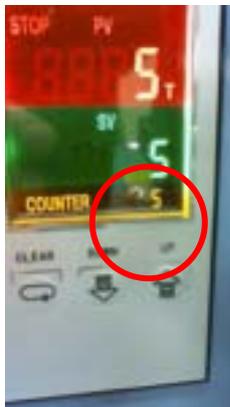


MODE

プレス温度の設定を
↑ ↓ ボタンで設定します。
赤い表示(PV)が現在温度で、
緑の表示(SV)が設定温度です。

注意)

- START ボタンを押した際に STOP ランプと OUT ランプが交互に点滅をするのを確認してください。交互に点滅しなければ温度が上昇しません。



COUNTER

プレスを何回したかをカウントします。



COUNTERのリセット

CLEARを1回押すとCOUNTERの数字が
点滅します。次に、CLEARを2秒間押し続け
ますと数字が0になり、リセットされます。

使用する上での注意事項

1. 本製品は電動式です。感電又は故障の原因となりますので直接水を吹きかけることはおやめください。
2. メイン基盤の故障の原因となりますので必ずアースを取ってください。
(アースを取らずに使用して故障した場合には保証期間内でも保証外となりますのでご注意ください。)
3. コテやテーブルに付いたホコリや塵などは、乾いた布で拭きとってください。
(濡らした布などで拭きますとコテの劣化が早くなります。)
4. ヒーターの温度を上げたまま、長時間使用しないでおきますと、火災等、危険な恐れがありますので本体から長時間離れる場合は電源をOFFにしてください。
5. バリが付いた板などに転写する際はコテやマットが傷付きますので圧力を弱めにした上で、バリを取ってから使用してください。
6. 電源を入れてからすぐには昇華に必要な適切な温度まで上昇しません。約 30 分以上経過してから使用するようにしてください。
7. 昇華対象物の違いにより画質が変わります。ヒーター温度や圧力、時間を調整して適切な設定をしてください。
8. 硬いものや熱に弱いものをプレスしないでください。コテの劣化は早くなります。
9. タコ足配線はしないでください。発火、又は感電の恐れがあります。
10. 感電の恐れがありますので分解は絶対にしないでください。
11. ヒューズを交換する際には必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。
12. お子様がいる場合は、やけどや感電の恐れがありますので、お子様が手にふれない位置に置るか、近づけさせないようにご注意ください。

故障かな？と思う前に

Q1<電源が入らない>

A1 電源プラグは、コンセントから外れていませんか？

→ 再度、本体側の電源プラグを抜いて差し直してください。

A2 本体正面左側のスイッチがOFFになっていませんか？

→ スwitchをONにしてください。

A3 GFH-380本体のヒューズが切れていませんか？

→ ヒューズは本体正面左側の電源スイッチの横に設置されていますので同梱されているヒューズと交換してください。

Q2<ヒーターの熱が上がらない>

A1 本体の START ボタンを押しましたか？

→ STOPとOUTの表示が交互に点滅して温度が上昇します。

A2 緑の液晶表示の温度設定を目的の温度設定にしましたか？

→ 赤の液晶表示が現在温度で緑の液晶表示が目的温度で、ほぼ同じ数値になります。

Q3<タイマーがはたらかない>

A1 本体に貼りついているPlease Peel off This Labelのラベルを剥がしていますか？

→ Please Peel off This Labelのラベルが剥がれた状態ですとタイマーはカウントダウンされません。

A2 コテを下ろしたときに完全に下まで下ろしましたか？

→ コテを下に下ろすと必ずピーと音がしてからカウントダウンを始めます。ピーと音がしない場合は圧力が強すぎるか逆に弱すぎる可能性がありますので、コテの上にあるハンドルにて圧力を変えてから再度行ってください。

Q4<ゴーストがおきる(ぼける)又はむらになる>

A1 コテ寸法は380mm×380mmですが、四方の端20mmは温度が不安定ですので340mm×340mmまでの範囲内で使用することをお勧めいたします。

A2 温度は15分程度で200度迄上昇しますが温度が安定するまでには30分程度経過してから使用するようにしてください。

A3 2WAYなどの収縮する布地の場合はゴースト(ぼやけ)がおきやすいので一度プレスして布地を縮ませてから昇華することをお勧めします。

A4 ぼける場合は温度が必要以上に高い又は、プレス時間が長すぎる可能性があります。又、むらになる場合は圧力が弱い、又は温度が低い、プレス時間が短いなどの可能性がありますので圧力の調整やプレス時間、温度設定を再調整してください。

GFH-380 仕様

圧着厚さ	0-16mm
最大温度	260 度
圧着時間	0-9999 秒
圧着面積	380mm×380mm
定格電源	AC110V/60Hz/1.75kw
本体外形寸法	680×390×366mm
重量	34kg
メーカー	中国製